



令和6年3月12日

| | |
|-----|----------|
| 担当課 | 文化振興課 |
| 担当者 | 稲垣・富永 |
| 電話 | 435-1194 |
| 内線 | 3020 |



ともがしまほうだい
「友ヶ島砲台の文化財調査」

調査成果を現地公開します！

～明治時代の砲台の様子が明らかに！～



今から120～130年程前の明治時代、日本各地の沿岸に、敵国の軍艦の攻撃に備えて要塞が築られました。京阪神一帯を守るために、紀淡海峡の両岸に築かれたのが「由良要塞」です。海峡の最も狭まった地点に、砲台18か所・堡塁9か所が築かれ、当時国内で最も大砲が密集する場所となりました。

このうち、友ヶ島には友ヶ島第1砲台～第5砲台や虎島堡塁を中心として、軍用道路、埠頭、発電所、探照灯台（サーチライト）、将校や砲兵の営舎、井戸、厠（トイレ）、砲具庫（大砲用具を収納する倉庫）、弾廠（砲弾を準備する作業小屋）などの関連施設があちこちに築かれ、まさに要塞の島となりました。

今回は友ヶ島で最も規模の大きい第3砲台で、砲座8門のうち1か所の発掘調査を行い、当時の砲撃の主力火器であった28cm榴弾砲を、直径5.4mの砲座に据えた痕跡が明らかになりました。急速に近代化を推し進めた当時の社会情勢や、戦争の脅威が身近にあった時代の雰囲気を感じていただければと思います。

【日時】令和6年（2024）3月16日（土）13:00～15:00

※13:00、14:00に現地解説を行います。

※友ヶ島汽船の運航状況により時間変更する可能性があります。

※友ヶ島汽船が欠航の場合は、3月17日（日）に順延します。

【場所】友ヶ島第3砲台

※友ヶ島渡航には友ヶ島汽船運賃（往復大人2,200円、小人1,100円）が必要です。

車でお越しの場合は、駐車場料金が別途必要です。

※友ヶ島汽船の運航状況は、友ヶ島汽船ホームページでご確認ください。

【主催】和歌山市文化振興課

公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センター

【問合せ先】和歌山市文化振興課（七番丁23番地） 電話：073-435-1194（※平日のみ）

友ヶ島砲台の文化財調査 現地公開

明治時代、日本各地の沿岸に、敵国の軍艦の攻撃に備えて要塞が築かれました。京阪神一带を守るために、紀淡海峡の兩岸に築かれたのが「由良要塞」です。今回は友ヶ島で最も規模の大きい第3砲台で、砲座1か所の発掘調査を行い、当時の砲撃の主力火器であった28cm榴弾砲を、直径5.4mの砲座に据えた痕跡が明らかになりました。



友ヶ島第3砲台 28cm 榴弾砲の砲座の発掘調査



「二十八珊米榴弾砲」(明治時代・由良要塞(加太))